

第8回「機能性バイオ」ミニシンポ OPERA本格フェーズへ



—日本のエネルギー事情と微細藻バイオリファインリーの創出—

日時：2019年 10月17日（木）13：00～18：00＋交流会

場所：東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト・多目的ホール（1F）

※つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」西口より北へ徒歩1分

主催：JST・OPERA機能性バイオ共創コンソーシアム

共催：東京大学・機能性バイオ研究支援フォーラム

産総研・生物資源と触媒技術に基づく食・薬・材創生コンソーシアム（食触コンソ）

・ご挨拶—OPERA本格フェーズに向けて（13：00～13：10）

三谷 啓志（東京大学・院新領域・先端生命） [10min]

【招待講演】

・Part 1（13：10～14：10） 座長：富永 健一（産総研・触媒センター）

地域エネルギーからの環境創生イノベーションに向けて

—福島県新地町からの未来再生の取り組み—

[30min]

藤田 壮・平野 勇二郎・五味 馨（国立環境研究所・社会環境システム研究センター）

次世代バイオ燃料研究開発の今後の方向性

[30min]

上野 伸子（新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）・技術戦略研究センター）

・Part 2（14：10～15：10） 座長：礪田 博子（筑波大学・生命環境系）

微細藻類由来マイコスポリン様アミノ酸のヒアルロン酸分泌促進作用の分子生物学的メカニズム

芋川 玄爾（宇都宮大学・バイオサイエンス教育研究センター） [30min]

水熱可溶化処理と膜濃縮処理を組み込んだ湿式バイオマスのコンパクトメタン発酵システム

川尻 聡（竹中工務店・技術研究所）

[30min]

・コーヒーブレイク（15：10～15：40）

・Part 3（15：40～16：40） 座長：河野 重行（東京大学・FC推進機構）

緑色微細藻類の分類と進化：進化の知見は「役に立つ」のか？

仲田 崇志（横浜国立大学・大学院環境情報研究院） [30min]

多細胞藻類に単細胞だった頃を語らせてみる

平岡 雅規（高知大学・大学院教育研究部総合科学研究科） [30min]

【特別講演】（16：40～17：50） 座長：大矢 禎一（東京大学・院新領域・先端生命）

微細藻類ユーグレナによるバイオリファインリーのための基盤開発について [30min]

持田 恵一（理化学研究所・環境資源科学研究センター）

酸性温泉に生息する微細紅藻イデユコゴメ類の産業利用に向けた基礎研究 [40min]

宮城島 進也（国立遺伝学研究所・遺伝形質研究系）

・おわりに—OPERAへの勧誘と総括（17：50～18：00）

河野 重行（東京大学・FC推進機構） [5min]

[5min]

原山 重明（中央大学・研究開発機構） [5min]

[5min]

・交流会（18：00～20：00） 2階ラウンジ

※上記のミニシンポをJST・OPERA機能性バイオ共創コンソーシアムの主催で開催します。参加は無料です。ミニシンポ後には交流会（18：00～20：00）を予定しています。交流会の参加費は、一般3,500円、ポスドク・学生1,000円で、当日会場にて徴収します。ミニシンポおよび交流会への参加は、10月11日（金）までに、ホームページ <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/functionalbio/> で申し込み下さい。当日参加も歓迎します。ご質問や連絡は下記の世話人や事務局にメールで問い合わせください。

<世話人> 河野重行（東京大学・FC推進機構）、礪田博子（筑波大学・生命環境系）、富永健一（産総研・触媒センター）

<事務局> 東京大学・院新領域・JST/OPERA機能性バイオ共創コンソ推進室 opera_algae@edu.k.u-Tokyo.ac.jp

細川聡子、平野滝子、狼美保子

Photo:S. Kawano "アドリア海の夕陽" 2019